

平成29年度 実施事業の概要

施設名: 国立妙高青少年自然の家
教育事業名: 教員免許状更新講習
期間: 平成29年8月8日(火)~8月10日(木) (2泊3日)
対象及び参加人数: 小中学校教員39人
目的: 国立妙高青少年自然の家のフィールドを活用し、集団宿泊学習を通じた学級づくりのあり方や、環境をテーマとした「総合的な学習の時間」、「生活科」の指導に必要な知識・技術を身につける。また、体験活動の教育的意義やその指導方法を理解し、教員としての資質・能力の向上を図る。
事業概要: 1日目に、講義「体教育における体験活動の意義」、実習「体験活動の指導法Ⅰ」 2日目に、講義「体験活動の指導法Ⅱ」実習「体験と学びのある総合的な学習の創造」 3日目に、講義「長期集団宿泊体験活動の意義と安全管理」実習「体験活動の指導法Ⅲ」を行った。また、3日間の講習について、それぞれ認定試験を実施した。
成果: ①学校現場で、すぐにも実施できる内容の講習だったので、参加者から「実用的で有意義だった。」という感想を得た。 ②様々な地域からの参加者が、対話や共同による体験活動、グループ演習を通して交流することで、参加者自身の幅広い見識の習得や情報交換等が行えた。
   
課題: ①夜間の体験活動についての実習を要望する声が多く聞かれた。に中以外の活動についても、次年度以降検討していく必要がある。 ②学習指導要領の改訂や学校現場が抱える課題を吟味し、より参加者のニーズや学校現場の課題に即した講習内容を確保する必要がある。